

編集後記

年報『真宗文化』第二十八号をお届けします。

本号には、今年度の委嘱研究員である亀山隆彦氏と片山正彦氏の論文に加え、二〇一四年度に委嘱研究員であった稲葉維摩氏、そして佛教大学看護学科准教授であり、本学看護学科の「仏教看護論Ⅱ」の非常勤講師である中島小乃美氏の論文を掲載いたしました。詳細な文献研究に取りくむ亀山論文と稲葉論文、さらに明治十八年の淀川洪水時にその地域の真宗寺院が果たした役割を検証した片山論文、仏教研究者であり看護師としての臨床経験もある立場からより実践的な仏教看護の構築を目指す中島論文と、多岐にわたるものとなりました。現代の真宗、仏教研究の諸相をお届けします。

なお、昨年七月に予定しておりました第五三回光華講座は、前日から京都を襲っていた豪雨により中止となりました。そのようなこともあり、本号では講話録

をご用意することができませんでした。様々の防災設備の整備によって、片山論文が取り組んだ明治十八年の淀川洪水のような被害規模にはならなかったものの、七月の豪雨や六月の大阪北部地震の際の混乱は大きく、我々の日常のもろさを実感する1年でありました。

そのような中であって、聖典読書会や聖跡巡拝は、参加いただいたみなさまのご協力のもと、例年通り盛況に開催することができました。みなさまに厚く御礼申し上げます。

この春には、前研究所所長であり、学長を十二年間勤められた一郷正道先生が退職されます。研究所のみならず本学園において、建学の精神を具現化すべく取り組まれた功績は大きく、その存在を失うことに、不安と寂しさを感じる春であります。しかし一方で、新たに太田所員や野地事務員を迎えることができました。これまで研究所を支えてこられた先生方、そして学園の願いを次の時代へと継承していけるよう、より一層精進して

いきたいと考えております。ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

(CO)

真宗文化 第二十八号

平成三十一年三月一日 発行

京都光華女子大学
発行 真宗文化研究所

所長 小澤 千晶

京都市右京区西京極葛野町三八
電話 〇七五(三三)五三八三(内)

E-mail shk@mail.koka.ac.jp
URL <http://www.koka.ac.jp>

印刷 協和印刷株式会社